

「若手の会」のページ

若手の会第3回リトリート開催報告

JASTS 若手の会実行委員

はじめに

2021年11月に日本味と匂学会の若手の会（JASTS 若手の会）が発足して以来、この度3回目の合宿形式の交流会を開催いたしました。今回から本交流会を若手の会の「リトリート」と位置づけ、若手の会設立の趣旨である若手会員・学生会員同士の交流・情報交換をオンサイトで実践する場として提供してまいります。

リトリート開催に向けて、私たち実行委員のメンバーは一年ほど前から準備を開始しました。2024年度は実行委員に新たに4名が加わり、前回リトリートの反省を踏まえて会場の選定からプログラム構成について定期的にweb会議を行ってきました。

本稿では、リトリート開催について写真を交えてその様子をご報告いたします。また、開催後のアンケートをもとに参加者からの感想を紹介させていただきます。



若手の会第3回リトリート参加者

若手の会第3回リトリート開催報告

日本味と匂学会第58回大会に先立ち、9月10日から1泊2日の合宿形式で、倉敷市の倉敷シーサイドホテルにおいてJASTS 若手の会第3回リトリートを開催しました。倉敷シーサイドホテルは、JR岡山駅から快速マリンライナーで20分ほどかけて児島駅に向かい、ホテル送迎バスで10分ほどの距離にあります。本大会の会場である岡山大学創立五十周年記念館まで一時間程度とアクセスが比較的良く、ミーティングルームも整備されており、バーベキュー可能なのにリーズナブルという参加者どうしの交流にぴったりの

ホテルでした。

今回のリトリートには招待講演として立命館大学の和田有史先生をお迎えし、実行委員を含めて計21名が参加しました。リトリートには今回初参加の方もおり、また、これまでに引き続き、アカデミア、学生、企業研究者、医療従事者の方と、多彩なバックグラウンドをもつ方々が一堂に会する本会の趣旨どおりの交流会となりました。

第3回リトリートのプログラムでは、①自己紹介とポスターセッション、②実行委員による若手講演、③和田先生の招待講演、④バーベキューと交流会、⑤造船所見学の5つを主たるイベントとして企画しました。参加者は事前にプロフィールスライドを作成し、研究テーマだけではなく、情報や技術を提供できるシーズ、必要としているニーズ、さらには趣味やハマっているものなど参加者各人のパーソナリティを共有しました。

JR 児島駅から送迎バスでホテルに到着後、参加者全員がミーティングルームに集まり最初の自己紹介とポスターセッションを行いました。最初は緊張していた方も、研究内容や趣味、リトリートに参加した思いなどを自由にお互い紹介していくなかで、和やかな雰囲気を実感して次第に安心してもらえたと思います。

リトリートの限られた時間を有効に使うべく、今回はポスターセッションを早めの時間帯で開催しました。本大会で使用するポスターを掲示し、大会さながらに活発な議論が交わされました。少人数かつ全員が若手研究者ということもあり、異分野でも気軽に討論できる点はリトリートならではの良さだと思います。ポスターセッションはバーベキュー後と2日目朝の造船所見学ツアー後にも行い、リトリート期間中に合計3回行われました。

実行委員としては、本会に向けたポスター発表の“練習の場”として利用してもらう意図もありました。結果として昨年と一昨年に引き続き、リトリート参加者から本大会で優秀発表賞としてたくさんの方が選出されたことは大変喜ばしいです。さらに、リトリートでポスター討論の機会を設けることで、本大会に比べて時間制約が少なく残り時間を気にせず細かい部分まで議論できた、前もってリトリート参加者どうしポスター討論できたため、本大会のポスターセッションを他のポスターの閲覧にあてられて有意義だったとの感

想もいただきました。今後のリトリートでもポスターセッションを継続したいと感じております。



ポスターセッション

自己紹介と最初のポスターセッションの次は、若手講演です。実行委員より村田航志氏（福井大学）と八木徹哉氏（ハウス食品グループ本社株式会社）が講師として、アカデミアとインダストリーのそれぞれの立場からキャリアパスについて話しました。



実行委員による講演

3つめのセッションは立命館大学の和田有史先生の講演です。「事例：研究者のキャリアパス」と題して、和田先生からも研究内容だけではなくキャリアパスを振り返ったお話をいただきました。よそでは聞けないここだけの話、というリトリートの招待講演の趣旨に即して、各キャリアステップで経験されたよかったことや大変だったことをご教示いただきました。和田先生の研究は心理学・認知科学分野の学術的な領域だけではなく社会への実装までカバーされる幅広いものでした。講演後も、多様なバックグラウンドを持つ参加者がそれぞれの興味について和田先生との議論を深めることができました。



和田有史先生の講演

ポスターセッション、若手講演、和田先生の講演を終えて、ミーティングルームからホテル中庭に移動し、屋外バーベキューを行いました。夕暮れ時の瀬戸内海の景色は大変すばらしく、気温もほどよく下がってきたなかで食事とお酒を楽しみました。コロナ禍以後、食事をともにしながら交流を深める機会は少しずつ増えてきましたが、研究室から離れて実験や研究者の日常、キャリアパスについて先輩・後輩と語り合う機会はやはり大変貴重なものと実感できました。参加者各自、それぞれにとって思い出深いイベントになったことと思います。バーベキュー後は、入浴し、ミーティングルームでポスターを前に議論と団らんでさらに親睦を深めました。



バーベキュー

今回のリトリートではレクリエーションも取り入れ、2日目の朝食後に倉敷シーサイドホテル宿泊者限定の造船所見学ツアーに参加しました。

造船過程を見学可能な工場は国内でも少なく、陸地で製造される巨大な船にただただ圧倒される素晴らしい体験でした。



造船所見学

このように5つのイベントを無事に終了し、閉会式を執り行った後に解散となりました。参加者は引き続き全員で岡山大学に移動し、本大会に臨みました。本大会に先立ってリトリートを開催したことで、参加者どうし交流し、仲が深まったことで、モチベーションが高まった状態で本大会に参加できたのではないのでしょうか。

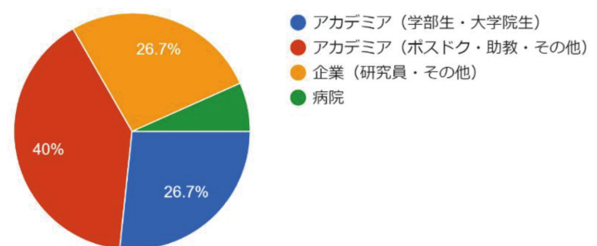
おわりに

過去2回の反省を踏まえた3度目のリトリート開催となりました。和気あいあいとした気軽な雰囲気は維持したままで、初回参加者の方々にも楽しんでいただける交流会になったのではと思っています。終了後の参加者アンケートでは、リトリート全体の内容に関する質問でおよそ9割の方に満足・やや満足の評価をいただきました。一方で、ポスターセッションの時間はもう少し長いといい、交流をシャッフルしていろんな人と話す機会を設けるといい、というご意見もいただいております。これらのご意見をもとに、来年度のリトリートをより充実したものにしていきたいと考えております。全体としては、私ども実行委員側でも良い手応えを感じており、盛況で大変充実した交流会となったと思います。アンケートで寄せられた感想を抜粋して掲載させていただきましたので、是非ご一読ください。

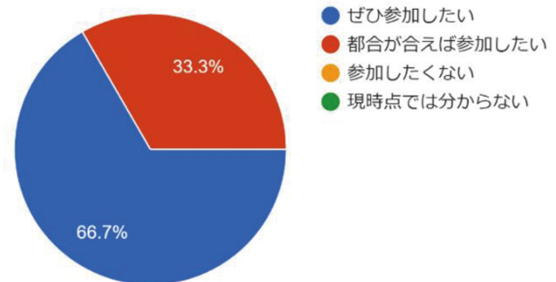
最後に、若手の会リトリート開催にあたり、多大なる御支援をいただきました日本味と匂学会と運営委員の先生方に心より御礼申し上げます。また、一緒にリトリートを盛り上げてくださった参加者の皆様に深く感謝いたします。今後もリトリートを継続的に開催してまいります。一人でも多くの若手正会員・学生会員の方のご参加をお待ちしております。また正会員の皆様におかれましては、本学会の裾野を広げるためにも、若手の会の情報を研究室所属の学生や若手研究員にご周知いただけましたら大変ありがたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

(福井大学・村田航志、岡山大学・堀江謙吾)

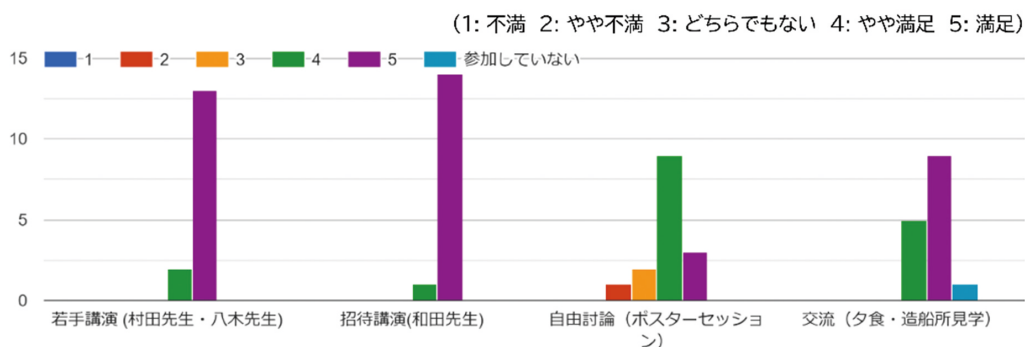
参加者の内訳



次回参加の希望



各セッションの満足度



参加者からの感想（抜粋）

- ・ 企業に所属している身ですが、今後の自分のキャリアについて考える時間になりましたし、様々な研究についてお話を聞くことができて刺激にもなりました。
- ・ 今年も楽しめました。運営に携わった方々、お疲れ様でした。
- ・ 来年も参加させていただきます！
- ・ 楽しかったです。また来年よろしくお願いします。
- ・ 本会ではなかなか話す時間がないので、本会前に若手研究者の方々と交流・ディスカッションできる時間がありとてもありがたいです。
- ・ 全く違う分野同士での交流が多かったのですが、意外と共通点があったり、異分野でも丁寧に解説してくださったりして、とても楽しかったです。ありがとうございました！
- ・ とても有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました！
- ・ 研究のことはもちろん、他の業種の研究者の生活やキャリアプランが知れて楽しかった。